

お知らせ

「公正な税制を求める市民連絡会」がZOOM学習会

「コロナ危機を考える」連続学習会

次回(第3回)は6月14日日曜日

第1回学習会 5月24日 ドイツのコロナ対策を学習

公正な税制を求める市民連絡会はインターネットのZOOMを活用して、「コロナ危機を考える」をテーマに連続学習会を開催。5月24日に行われた第1回学習会では、「諸外国に学ぶコロナ危機対応」の第1回として、政府への信頼感を高めたドイツについて法政大学の布川日佐史教授から報告を受けました。当日のお知らせは[「コロナ危機から考える」連続企画 第1回](#)をクリック

当日の動画は[第1回・5/24 諸外国に学ぶコロナ危機対応—①ドイツ](#)をクリック

第2回学習会 5月31日 現場からの報告とパネルディスカッション

5月31日には連続企画・第2回「いのちを守る財政を！～コロナ禍を越え人間のための社会へ～(1)」をZOOM集会として開催しています。

当日のプログラム(司会:水谷英二 雨宮処凛)

- 1 あいさつ 宇都宮健児(共同代表 弁護士)
- 2 現場からの報告(各20分)
 - ①医療:中重治(全国保険医団体連合会事務局長)
 - ②障害:小野浩(きょうされん常任理事)
 - ③教育:岩崎詩都香(高等教育無償化プロジェクトFREE代表)
 - ④労働:池田一慶(総合サポートユニオン)
 - ⑤生活保護:小久保哲郎(生活保護問題対策全国会議事務局長。弁護士)
 - ⑥公務員:白石孝(官製ワーキングプア研究会理事長)

3 パネルディスカッション

連続企画第2回のお知らせを開く [『コロナ危機から考える』連続企画・第2回・5/31](#)

第3回学習会 6月14日(日) 諸外国に学ぶコロナ危機対応②

ードイツと日本「支援の現場から求める生存保障」

「諸外国に学ぶコロナ危機対応」の第2回は、ドイツ研究の布川日佐史教授と、民間と行政の現場で支援にあたられている2名の方から、ドイツの実践を参考にしつつ、日本における生活保護と生活困窮の両方の現状と課題について考えます。

日時 2020年6月14日(日) 13時～15時頃

講師 ・稲葉剛(一般社団法人つくろい東京ファンド代表理事)
・行政の立場から
・布川日佐史(法政大学教授)

第3回学習会のお知らせを開く [連続企画第3回 ドイツと日本「支援の現場から求める生存保障」](#)
参加を希望される方は[公正な税制を求める市民連絡会](#)へ